

【会議録】

会議名	第3回港区白金三丁目保育室運営業務委託事業候補者選考委員会	
開催日時	令和4年10月31日（月曜）午後3時15分から午後4時54分まで	
開催場所	港区役所本庁舎9階914会議室	
委員	出席者 5名 田中委員長、請川委員、白川委員 山本高輪地区総合支所長（副委員長）、木下保育課長（委員）、 欠席者 0名	
事務局	高輪地区総合支所管理課長、管理課施設運営担当係長、管理課管理係担当者	
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （1）A事業者（30分間） （2）B事業者（30分間） 4 議題審議 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他	
配付資料	資料1	第二次審査実施概要
	資料2	第二次審査採点表（2事業者分）
	資料3	第二次審査結果・総合結果表（※採点終了後、机上配布）
	資料4	第2回選考委員会議事録(案)
	参考資料	第一次審査集計結果
会議の内容		
事務局 委員長 委員一同	【1 開会】 (田中委員長より開会の挨拶)	
	【2 第二次審査実施概要について】 (資料1から3について説明) ただいまの説明について、意見・質問はありますか。また、資料4について、 指摘等ありますか。 (異議なし)	
A事業者	【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 (1) A事業者 プレゼンテーション (質疑)	

A委員	勤務体制について、施設長候補者は月～金曜が勤務で土曜は休みという提案ですが、土曜日の責任者はどなたになりますか。
A事業者	ミドルリーダーの職員が必ず出勤し、その日の責任者となります。何かあった場合は、いつでも施設長に連絡が通じるようになっています。
A委員	大きな事故が起こった場合、施設長へ連絡後の流れ、本部や区との連携はどのようになりますか。
A事業者	まずは区に連絡をし、本部とも連携を取って対策、対応策を講じます。
A委員	白金三丁目保育室という地域性、特質があると思いますが、運営に当たり、どういった点に配慮や力を入れたいと考えていますか。
A事業者	地域にとってなくてはならない存在であることを目指したく、まずは地域との関わり、連携が大切だと思っています。そのためにはまず、施設に通う子どもが地域を知ること、地域の方々に施設や子どもを知ってもらうということが大切だと思っています。
A委員	地域といっても様々あると思いますが、どういう地域とその連携を考えていきたいですか。
A事業者	白金三丁目保育室の近くには商店街があります。商店街の方と繋がりを持つよう、例えば、八百屋への買い物に子どもと職員が一緒に行き関わりを持ったり、高輪図書館に本を一緒に借りに行ったり、郵便局など色々な施設に子どもと一緒に出席していきたくと思っています。
B委員	保護者が安心して過ごせるよう、園と保護者の連携していくための具体的な取組とは、どのようなものですか。
A事業者	園の中で起った保育のことなど、保護者に分かりやすく丁寧に伝えることが保護者からの信頼につながるとしています。連絡帳や口頭でのやり取りに加え、ドキュメンテーションを行っています。ドキュメンテーションでは、写真と文章だけではなく保育の過程が分かるよう工夫をして作成しており、普段私たちがどのように考えて保育をしているかを伝えるようにしています。
B委員	保育者が成長できるよう、どのような取組を考えていますか。
A事業者	保育者とは定期的に面談を行い、課題や、これからやっていきたいこと、学びたいことを、対話を通して出していきます。そしてそれに合った研修の受講や、園内研修として一緒に考えていくことも行っています。
B委員	研修制度で保育者の質を高めていくのですね。
A事業者	そのとおりです。
B委員	障害のある園児との関わりについて、子どもへの職員の関わりをサポートするために、障害園児保育の質の向上を目的として臨床心理士、スーパーバイザーが、職員向けの施設ニーズに合った研修を施設単位で実施するとありますが、頻度を教えてください。
A事業者	法人に所属している認証心理士が、2か月に1回、園を訪問し子どもの様

	<p>子について相談しています。</p>
C委員	<p>2か月に1回は相談を受けて、施設ニーズに合った研修は別途ですか。</p>
A事業者	<p>臨床心理士は基本的に、子どもを見て見立てをします。その見立てに対しの手立てを考えるので、研修というと、少々大々的になりますが、園の中、クラスの中で、この子どもに対してこういう対応が必要だというロールプレーを各巡会時に実施をしており、より効果が出ていると感じています。</p>
C委員	<p>それは対応、担当している職員だけではなく、他の職員に対しても一緒ですか。</p>
A事業者	<p>クラス単位の他、乳児・幼児、カテゴリーを分けて実施することもあります。研修というと集合してという感じですが、巡回の中の見立て手立てというところを、法人に所属しているので丁寧に対応することができます。</p>
C委員	<p>安全対策、危機管理について、乳幼児の活動中の安全確保の取組の提案にかなり細かいチェックがありますが、どの位の頻度で実施していますか。</p>
A事業者	<p>各項目は安全管理チェックとして、毎月1回、必ず全てのクラスが行っています。また、午睡チェックは毎日、全てのクラスが行っています。0歳児から2歳児は5分に1回、3歳児以上は30分に1回チェックを行っています。</p>
D委員	<p>人材確保・職員の定着について、地元志向、身近な職場という観点で職員の確保に努めているとのことですが、港区在住の職員は何人いますか。</p>
A事業者	<p>法人全体を通して港区在住者は大体30名です。</p>
D委員	<p>臨床心理士の見立て、手立てによっては、子どもの状況により加配が必要であるとか、通常の職員配置では難しい場合に、人員配置は必要に応じて行うということでしょうか。</p>
A事業者	<p>区の委託事業になりますので、法人の考えだけでは加配する・しない、ということは決められないと思っています。加配が必要な場合は、まず、区に状況を説明し、子どもの様子を見ていただくフローを組んでいます。</p>
D委員	<p>ここ数年の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、保護者対応や保育の確保など、苦労した点や学んだ点は施設候補者ご自身の経験の中にありますか。</p>
A事業者	<p>コロナ禍で職員が感染し欠勤することはありましたが、幸いなことに、複数の職員が1度に感染して施設の運営が厳しくなるというような状況は今のところ起きていません。今後、複数の職員が1度に休む事態となった場合は、本部との連携のもとに、系列園からのヘルプの要請を行える体制が整っています。保護者対応に関しては、マスクの着用について保護者にも色々な考え方がありますので、園として1つの考え方を保護者をお願いするのではなく、様々な事情を持った方がいることを職員又は保護者に伝えています。</p>
E委員	<p>全体的な計画、カリキュラムや指導計画について、施設長候補者は計画の編成に当たり、どの位関与しどうアドバイスをしましたか。</p>

A事業者	<p>全体的な計画に関しては、年度初めの職員会議で、全員で読み合わせを行い、内容について話し合う機会を設けています。月案は毎月クラス毎の会議を行い、必ず施設長が参加をし、狙いや配慮点、振り返りを一緒に行うことで、次の指導案の作成に繋げています。</p>
E委員	<p>新任職員に対しては、どのようなアドバイスや関わりをしていますか。</p>
A事業者	<p>新任の保育者に対しては、必ず、新任保育者だけのクラスにはせず、必ず先輩保育者と一緒にクラス編成をしています。施設長だけではなく、先輩保育者や主任と新任保育者とチームになり、新任保育者が新しく指導計画を立てるのをサポートしています。</p>
E委員	<p>それに対して主任たちを含め、勉強会をしたりということはありませんか。</p>
A事業者	<p>新任職員が入って日が浅い時期に、クラスミーティングの機会を通して、指導計画の作り方を先輩保育士も含め共有し、作成の仕方を学べるようにしています。</p>
E委員	<p>今まで経験した中で、より保育士になろうと気持ちを強固にした出来事、あるいは失敗から気づかされたことなどはありますか。</p>
A事業者	<p>保育士をやっていて良かった、成功したなど思えたことは、初めて卒園児を担当する際、子どもとの関わり方がよく分らず気持ちに寄り添った保育ができませんでした。毎日子どもの様子を見ながら1年間過ごすことで、子どもと信頼関係ができ、笑顔で卒園を迎えることができたことが、自分にとって大きな自信となりました。また、失敗と感じたことは、1歳児担任の時に、気になる様子を見せる子どもについて保護者と共有したいと思いつつも、伝える時に気持ちに寄り添った言い方ではなく、保護者の気持ちを害してしまったことは、すごく失敗でしたが大きな経験となり、今も仕事に活かしています。</p>
B事業者	<p>(2) B事業者 プレゼンテーション (質疑)</p>
A委員	<p>勤務体制について、責任者の施設長候補者は平日の勤務ですが、土曜日の責任者はどなたになる予定ですか。</p>
B事業者	<p>必要があれば施設長の勤務も可能です。施設長が休みの場合は、主任又はクラスリーダーなど、必ず責任の持てる組み合わせでシフトを組みたいと考えています。</p>
A委員	<p>土曜日の勤務体制で保育士が4名、とある中に主任やリーダーを入れるということですか。</p>
B事業者	<p>はい。</p>
A委員	<p>土曜日に大きな事故、重大事故が起きたら、どのように対応しますか。</p>
B事業者	<p>施設長にいつもでも連絡が取れるような体制を作っており、緊急時にはす</p>

A委員	<p>ぐ連絡を取り、園に向かうことができる状況ならすぐに向かわせます。また、病院に搬送する、救急車を呼ぶ、といった指示をしたいと思っています。</p> <p>病院に行く程の大きな事故の場合、その後の連絡など、どのような手順ですか。</p>
B事業者	<p>事故対応マニュアルに添った訓練を行っており、病院での指示、保護者対応から本部への連絡と、マニュアルに沿った対応を行うようにできています。</p>
A委員	<p>白金三丁目保育室という地域性、特質があると思いますが、運営に当たりどういった点に配慮や力を入れたいと考えていますか。</p>
B事業者	<p>白金三丁目保育室の周りは完静な住宅街となっていますが、住民に理解いただき、近隣の方に暖かく見守っていただきたいと思っています。また、公園が多く、緑豊かな土地、歴史ある神社仏閣などもありますので、地域の方と連携して、例えば町会のお祭りや、近隣の小学校や幼稚園などと連携、共有できたらと考えています。</p>
B委員	<p>食育について、もう少し具体的に教えてください。</p>
B事業者	<p>食育活動は、全園で力を入れています。いま勤務している園では、栄養士、調理師、保育士が、月に1回食育デーを設けています。その中で、特に、食に興味を持つ取組として、昨年度は枝豆を植え、収穫して給食で試食しました。その後、乾燥させて大豆にし、潰してきな粉になるという体験をして、楽しく美味しく食べること、マナーや命をいただくとか三大栄養素についても勉強したり、今コロナでクッキングが難しくなっていますが、工夫して食材に触れながら、食に興味を持つ活動をたくさん取り入れています。</p>
B委員	<p>保育者の質を上げるための研修について、研修制度について力を入れている点を教えてください。</p>
B事業者	<p>外部研修にもたくさん参加していますが、特に、社内研修での取組を充実させるようにしています。今年度の保育研修で雨の日の過ごし方、室内での過ごし方に色々悩んでいる、といった時に実践例で紹介し合ったり、発達支援が必要な子どもについての研修会を設けて、資格を取った職員を講師に話を聞いたり、グループディスカッションを通して支援が必要な子どもについての研修をしました。それがとても良かったので、各自園に持ち帰り、園内研修として活用していくということができました。</p>
C委員	<p>性的マイノリティへの配慮や虐待の防止、早期発見について、職員がそうした疑いがある子を発見した場合、具体的にどのように動くようになっているのですか。</p>
B事業者	<p>男女で分けて何かをするということにはしていませんが、例えば、運動会、発表会などの衣装を作った時に、性別によりこうあるべきという差別はしない、子どもが選べるような姿勢をとっています。自分の性に違和感がある時は、職員と保護者と一緒に話し合い、個人面談や周りの子ども</p>

C委員	への配慮をするような研修をしています。
B事業者	各職員にそのような研修をしているのですか
C委員	園内研修で、話し合いを先日持ったところですが、共通の認識を持って職員が対応できるようにしています。
B事業者	虐待の疑いとかというようなものを発見した時はどうするのですか。
C委員	担任が発見した場合には、速やかに園長に報告し、園から子ども家庭支援センターにすぐ連絡する仕組みができています。連携しながら、また保護者の様子も注意深くしながら、虐待については対応しています。
B事業者	職員がはっきりと判断できず、迷っているような場面はどうしますか。
C委員	体に傷があった時に、受け入れの際の保護者には聞くとは思いますが、はっきりしないときは、子どもにわからないように写真に残す、また保護者との会話の記録を残す、といったような対応をするように伝えています。
B事業者	安全対策に関して、ヒヤリハットや小さなケガの検証記録制度は良いと思いましたが、セーフティリーダーが主体となるセーフティ会議の実施とは、園内だけでなく他園も含めたセーフティリーダーの会議ですか。
C委員	10 園ありますが、1 園に必ず1 人セーフティリーダーがおり、ヒヤリハット、軽微なケガの記憶は必ず取るようにしています。セーフティリーダーが怪我の頻度など集計し、怪我が多い時間や曜日を把握します。それを施設全体のセーフティ会議に持ち寄り検証し、また、系列園で起きた怪我など事例を共有することで事故予防と予測に利用しています。
B事業者	セーフティリーダーが自分たちで検証するのですか。それとも本部に検証する部署があるということですか。
C委員	セーフティリーダーが集まり、その中で対応します。
B事業者	人材確保・職員採用等について、職員の定着率 95 パーセントとありますが、どのように導き出した数字ですか。
D委員	離職率を引いた数字になっています。
B事業者	離職率はどのように出すのですか。
D委員	離職率は、全体の職員から離職数を割って 100 を掛けたものです。4 月 1 日現在の人数を起点として、年度途中の退職者を引き、採用者を足して最終的な数を出します。
B事業者	定着率又は離職率のどちらでもよいですが、数値的に経年で見ると御社ではどのような経過を辿っていますか。
D委員	保育士の過去 3 年の離職率は、昨年度が 4.4%、一昨年度 7.0%、その前が 10.0%です。
B事業者	子どもの悩みやトラブルへの対応について、提案では相談体制図の両側に相談体制とありますが、これはそれぞれ違う人を示していますか。
D委員	同じ人です。これは園内、社内、外部の相談体制を示しています。
B事業者	外部というのはどういったものですか。

B事業者	外部の相談体制の記載内容に誤りがありました。正しくは第三者委員会の設置です。
D委員	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、保護者対応や保育の確保など、苦労した点や学んだ点は施設候補者自身の経験の中でありますか。
B事業者	保護者参加の行事ができなくなり、保育参観などの規模縮小や制限がある中で動画や写真の配信を多くしたところ、自分の子どもの写真が少ないといった苦情を受けました。万遍なくバランス良く撮るように、また色々な場面で写真を撮るように心がけました。
E委員	この保育室のカリキュラム、保育の全体的な計画の特徴を簡潔にお聞かせください。
B事業者	様々なプログラムを提供したいと思っています。子どもたちの好奇心や自分の得意なものを見つける、苦手だったけれどもやってみたら楽しかったといった思いを共有して欲しいと思い、食育や英語プログラム、また体操や造形等、年齢・発達に合ったものを取り入れていきたいと思っています。講師も社員なので、保育と連動したプログラムが提供できると考えています。
E委員	たくさん実現したいと提案されていますが、実現できそうなカリキュラムと理解しているのですか。
B事業者	10年以上このプログラムを行っています。例えば1歳児は生活の中で10分位、英語に触れるダンスをする、歌を歌うというところから、無理なく年齢に合った時間で行っていますので、楽しんで参加できると思います。
E委員	スタッフのマネジメントについて、今までの経験を含め、今後、この保育室ではどういう形で行っていく考えか聞かせください。
B事業者	特に、新規採用職員には先輩が1人付き、業務指導だけでなく精神的なサポートもしながら1年間一緒に考えていこうというブラザー&シスター制度があります。システムのいうよりは、今まで私はその都度悩みがあれば相談し、風通しの良い、事務室というのを心がけてきたので、気軽に話を聞く、また、自分からも話し掛けて悩んでいないかや、より良い対応についての話をするようにしていきたいと思っています。
委員長 事務局	<p>【4 議題審議 第二次選考について】</p> <p>採点集計の結果について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局より採点の集計報告</p> <p>第二次審査の得点は、</p> <p>A事業者 392点/500点満 第2位</p> <p>B事業者 396点/500点満 第1位</p> <p>第一次審査・加点項目・第二次審査の総合得点</p> <p>A事業者 1144点/1548点満 第1位</p> <p>B事業者 1071点/1548点満 第2位</p>

委員長	各委員から講評をお願いします。
A委員	A事業者の施設長候補者は、若い経験があり、しっかりと自分の言葉で答えられています。B事業者はベテランで、保育をよく分かっていて安心できると思いました。白金三丁目の地域性について、B事業者は地元小学校やお祭りといった一般的な話はありませんでしたが、実現性・具体性が少々弱いと感じ評価を少し下げました。
B委員	両事業者の施設長候補者には信頼性が高く、誠実さを感じました。A事業者の施設長候補者は、若い子どものことに加え保育者の成長まで考えており素晴らしいと思いました。資料もきちんとしており任せても大丈夫だろうと思いました。B事業者は、一次審査では高く評価していませんでしたが、プレゼンテーションで施設長候補者の人間性がポジティブに映り、本部と連携を取りながら良い保育運営ができると期待が持てました。安全対策、危機管理について、チェック項目が緻密になされており、セーフティリーダーを置いていること、園庭がなく近隣の公園を使うことを考えた時に非常に安心と思いA事業者よりも高く評価しました。どちらも任せられる事業者だと思いました。
C委員	両事業者ともほとんど差はありません。B事業者について、施設長候補者の発言から本部との連携をあまり考えてない印象を受け、本部の支援体制が十分かという視点で少し低い評価となりました。安全対策のセーフティリーダーの取組も良いと思いましたが、各園から細かく集めた事件・事故情報の分析までセーフティリーダーが行うのではなく、そこは本部が関わっても良いのではと思いました。
D委員	両事業者とも運営を任せられると思いました。施設長候補者については、A事業者は若いなりにとても誠実で、B事業者は経験豊富で受け応えが安心できました。A事業者は地元を知っている強みがあると感じた点が差になりました。
E委員	二次審査で、施設通候補者に短時間でも説明と質疑応答をしてもらうのはとても大事と感じました。A事業者は質問者の目を見て話し、質疑ではしっかりと自分の考えを伝えてくれました。B事業者も呼吸をおきながら必ず私たちの顔を見て話しました。その上で、経歴と専門的な知識を持っていることがうかがえ、両事業者とも良いと思いました。
委員長	各委員の講評は終わりましたが、何かご意見等がありますか。
委員一同	(特になし)
委員長	それでは、各委員の講評を踏まえ、本委員会として、A事業者を、港区白金三丁目保育室運営業務委託の事業候補者として選定してよろしいでしょうか。
委員一同	(異議なし)
委員長	また、選考基準に基づき、A事業者が選考結果通知後、辞退等により指名

委員一同	<p>が不可能となった場合、第2位のB事業者を繰り上げ運営事業候補者として指名してもよろしいでしょうか。何かご意見はありますか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局 委員長 委員一同	<p>【5 その他】 (事務局から今後の予定について説明)</p> <p>何か意見等がありますか。</p> <p>(特になし)</p>
	<p>【6 閉会】 (委員長より閉会の挨拶)</p>